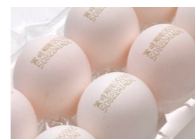




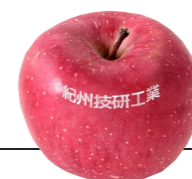
KGK JET



Printing Solution

信頼の印字を世界に。

KGK 紀州技研



紀州技研工業株式会社

〒641-0015 和歌山県和歌山市布引 466 番地 TEL 073-445-6610 FAX 073-448-2005

KGK および **KGK JET** は、紀州技研工業株式会社の登録商標です。

KGK 紀州技研

紀州技研が先駆的に開発してきた印字装置の世界は、刻々変化する市場の中で、装置そのものの改革はもちろん、その役割にも多様な期待とニーズが寄せられています。

紀州技研は研究開発型企業として「人に役立ち、社会に新たな価値を創造する技術を生み出すこと」をテーマに日々のチャレンジを重ねてきました。

私たちはこの豊かな緑と青い海のある紀州・和歌山の地でさらに柔軟な発想と独自の技術を磨き、力強く進化していきます。

全国ネットワークは14拠点から。
お客様にご満足いただける提案とサービスを
いち早くお届けします。



個々の仕事を持つ意義を考えること。 社内一貫体制システムの基盤です。

紀州技研では、開発を核とし、営業部門から製造部門まで密接な連携のもと、さまざまな知識やノウハウを全社的に共有。お客さまからのご要望を起点として業務が動き出す社内一貫体制システム（ナレッジマネジメントシステム）を構築しています。これにより、お客さまのニーズや課題点を最大限に理解して満足度の高いご提案や、解決策を提供させていただくことができます。



国内唯一 社内一貫体制のメリット

- お客様の声を全社的に伝える
- 正確なニーズをつかんだ開発を迅速に
- もしもの不具合の発生にも素早く対応

研究・開発・設計

- メカトロニクス課
- ソフトウェア課
- ハードウェア課



お客さまの声を具現化した開発をめざします。

研究開発型企業の紀州技研。ニーズに応じたインクジェットプリンターはじめコンベヤ・制御盤の関連設備を次々と開発しています。装置の性能や操作性を司る電子基板の設計、求める高機能を満たすための部品選定から厳しい動作評価テストなど各部門が技術を持ち寄り開発。また営業部と情報を共有することで、顧客と開発者がしっかり繋がり更なる改良や開発に反映することができることも強みとなっています。

製造・出荷



すべて自社製造だからこそできる安定供給。

紀州技研は、国内初の自動捺印機（ローラーコーダー）を発売以来、インクジェットプリンターにとどまらず、インクや印字検査装置、及びソフトウェアまで、全て自社で製造してきました。一貫した体制にこだわる理由は、なにより「お客さま目線のモノづくり」を徹底したい姿勢の現れ。自社に蓄積された製造ノウハウが、お客さまへの安定供給と出荷体制に生かせることが大きな強みとなっています。

販売・アフターサービス



スピーディーに全国14か所の営業所からサポートします。

納品後、万が一製品に不具合が発生した場合、全国14か所にある拠点より、弊社エンジニアがスピーディーに対応できるネットワークを構築しています。営業・保守・技術社員が一体となって、原因究明と問題の解決に取り組み、お客さまの満足度向上に努めています。

産業用インクジェットプリンターの 専門メーカーとして

紀州技研は1986年、産業用インクジェットプリンターを発売、以来、段ボールや化粧箱などのパッケージ、工業製品から薬剤、食品などあらゆる印字のニーズに応じたインクジェットプリンターを次々と開発してきました。



連続式(帯電式)インクジェットプリンター KGK JET CCS シリーズ



KGK JET CCS3300
ニューエコノミーモデル

KGK JET CCS3500
ニューハイエンドモデル

KGK JET CCS3100
ハイエンドスタンダードモデル

PP、PE、PET 素材の容器、食品用パウチ袋、化粧箱、ガラス容器、食品などのノーポラス素材(非浸透性)など、主に速乾性インクが必要とされる印字に優れたプリンターです。

オンデマンド式インクジェットプリンター KGK JET HQ シリーズ



KGK JET HQ8500

「オンデマンド」とは「必要に応じて」という意味で、印字信号受信時にインクをはじめて噴出するため、こう呼んでいます。用途としては主に段ボール箱などの外装に、社名・品名・ロット番号や、QRコードや各種バーコードなどの比較的大きな文字を印字します。

UV 照射機



UK5000UV

UV 硬化インクを瞬間硬化し、高い生産効率を実現。プリンターの印字幅を最適にカバーする照射ヘッドをラインナップ。プリンターとの連動で無駄な照射がなくLEDが長持ち、省エネにもつながります。

ローラーコーダーシリーズ



TQ-301

1968 年以来、国内初の自動捺印機として、長年お客さまからご支持をいただいている「ゴム印式自動捺印機」。段ボールやペール缶、木材にロット番号や日付をマーキングします。

印字検査装置 KGK JET CHECKER PK シリーズ



PK-420

インクジェットプリンターで印字した文字やロゴ、バーコード等の「欠け、カスレ、誤印字、ズレ、ドット抜け、傾き」を印字した直後に検査します。印字を知り尽くした紀州技研が作る印字検査装置です。

多種多様な機能性インクも 自社で開発・製造。紀州技研の強みです。

紀州技研は、印字する対象物に応じた機能性インクの開発にも力を注いでいます。インクジェットプリンターという非接触型の印字方法 + 独自の機能性インクがあらゆるものへの印字の可能性を拡げました。可食性インクでの卵や果物への印字は、食品のトレーサビリティを明確にするとともに食の安全に貢献しています。



機能性インク

吸水性のあるものへの印字



段ボール用標準インク
紙や多孔質素材に染み込むインク。カラーバリエーションも豊富です。



木材用インクログマーク
ログマーク、品名、マークを木材にもきれいににじます印字できます。



個包装箱用インク
速乾性インクで繊細な文字もくっきり印字できます。

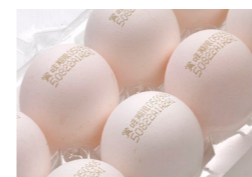


段ボール用フルカラーインク
紙などの多孔質素材に4色 (CMYK) プリントヘッドでフルカラー印字できます。



発泡スチロール用インク
発泡スチロールにロゴや商品名を直接印字が可能です。

食品・薬などへの印字



可食性たまご用インク
食べても安心なインク。茹でても消えません。



可食性錠剤用インク
素錠・OD錠・FC錠・糖衣錠・カプセルに印字。各色インクがあります。



可食性白インク
果物や食品に直接印字できる可食性白インクです。



可食性赤インク
安全性が高く桃などの表面にも直接印字が可能です。



可食性備長炭黒インク
備長炭を原料とした食べても安心な黒インクでログマークなどを印字。

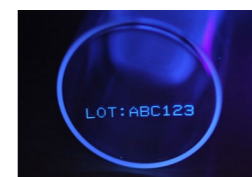
吸水性のないものへの印字



PP用インク (有機則非該当)
ポリプロピレンやPET、PA (ポリアミド) など難接着素材にも強着します。



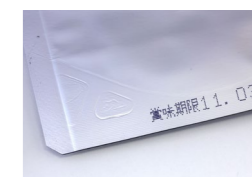
アルコールインク (有機則非該当)
MEKを使用していないため、嫌な臭いがありません。



ガラス用ステルスインク
隠し印字用。通常は印字が見えず、ブラックライトで照射すると印字が青く光ります。



PE用インク
ポリエチレンへの接着性を向上させたインクです。



レトルトパウチ用インク
加熱殺菌処理 (100 ~ 120℃) を行っても印字が剥離しません。



水性インク (有機則非該当)
水性インクだから消防法に非該当。乾燥後インクは弱アルカリ水溶液で洗浄できます。



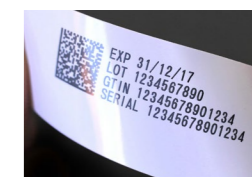
ハロゲンフリー白インク
ハロゲンフリー熱硬化性白インク。200℃ -30分の条件下で硬化します。



軟質塩ビ用インク
電線 (軟質塩ビ) に接着性良好です。にじみ・裏移りが起こりにくいです。



UV硬化インク (フルカラー印字)
4色 (CMYK) ヘッドに対応。UV照射することでインクを瞬間硬化します。



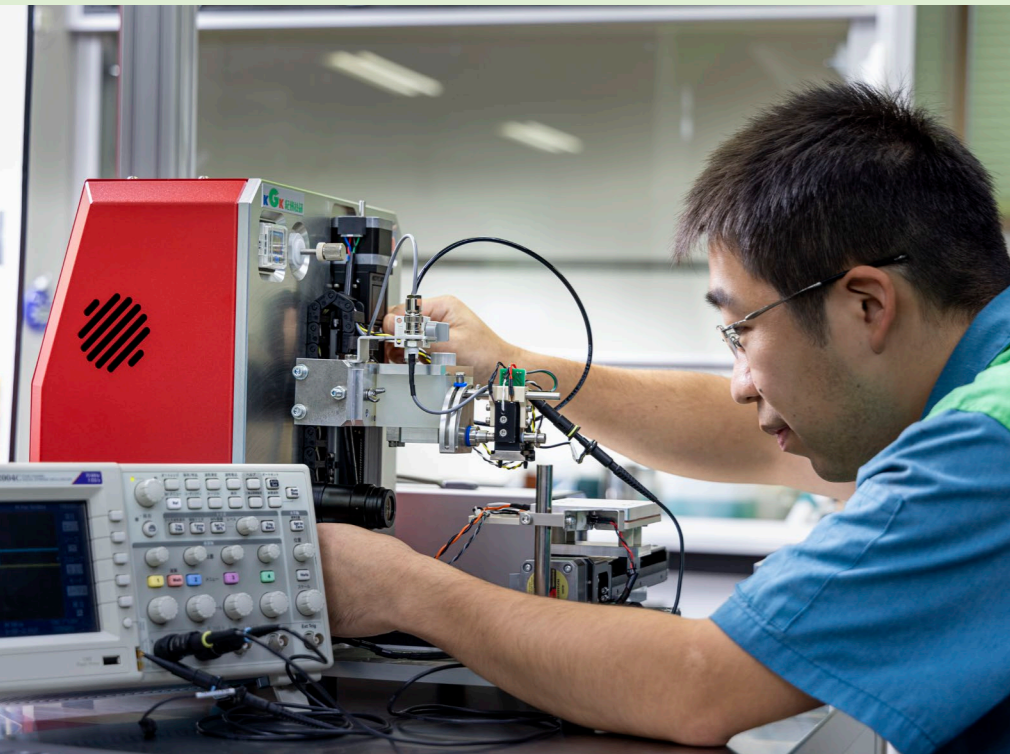
コート紙用インク
コーティングした化粧箱に印字可能な超速乾性インクです。



研究開発

■ プリンテッドエレクトロニクス

紀州技研、次のチャレンジは ナノテクノロジーを用いた先端研究。

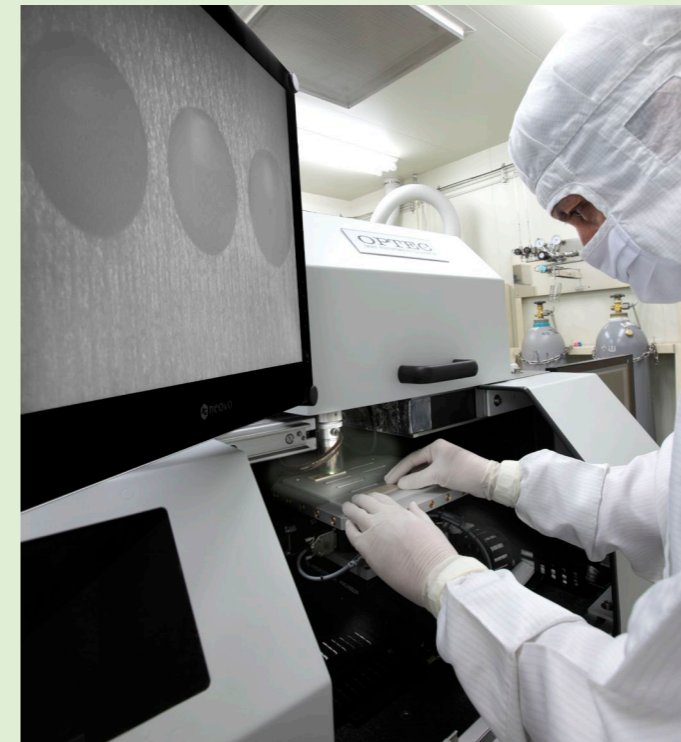


紀州技研では国や大学等の研究機関と連携した経験を活かし、研究現場が求めるインクジェット技術の開発にも積極的に取り組んでいます。持続可能な社会実現のためにこれまでとは異なる、環境に優しい生産プロセスが求められるようになり、各分野においても生産技術の研究開発が盛んに行われるようになってきました。当社が産業用インクジェットプリンターで培った印刷技術はその最先端の研究領域においても活用されています。プリンテッドエレクトロニクス(Printed Electronics) で使われる金属ナノ粒子をはじめとして太陽電池材料など様々な材料を使った印刷に挑戦してきました。研究向けに開発した卓上型のインクジェット装置は電子デバイスの試作だけでなく、材料検討など研究開発の様々な場面で使われ始めています。自社開発だからこそできる相談や研究現場との関わり方が当社の強みです。未来のために必要な研究開発に基礎から応用までインクジェット技術を通して貢献し続けることを目指します。

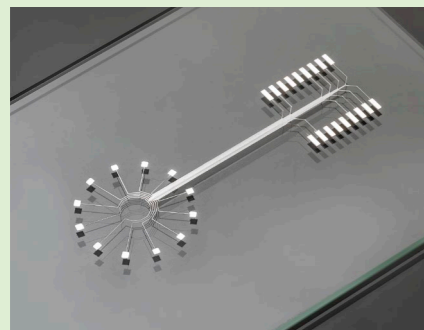
研究開発

■ プリントヘッド

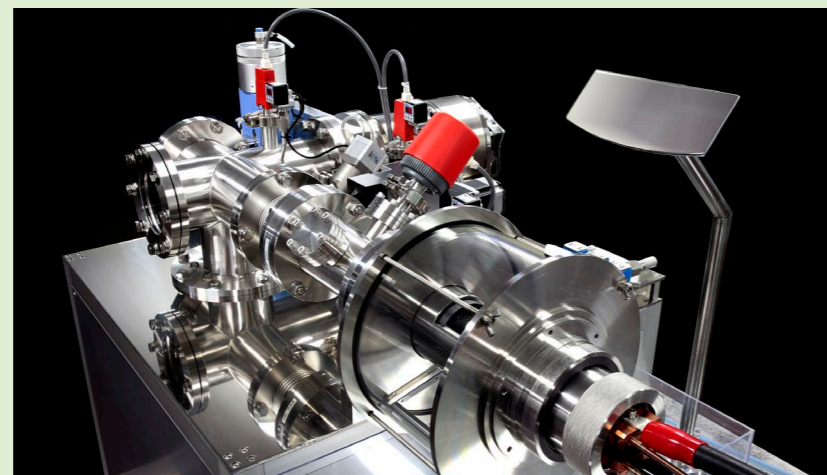
インクジェットプリンターの要。 プリントヘッドはインク開発と同時進行。



インクジェットプリンターの要であるプリントヘッド。インクを距離の離れた印刷対象物に正確に飛ばすため、高精度な微細加工技術が求められます。さらに、美しい描画性能と省資源・省エネルギーにつながる液滴化技術を、どのような市場・環境・条件においても提供することがプリントヘッド開発の使命です。多種多様な印字ニーズに応えるため、紀州技研は2002年、インク開発部と同時にヘッド開発部を設立しました。インクを確実に制御する、より優れたヘッドの開発をインク開発と同時進行で行うことで、紀州技研にしかできないノウハウを確立しています。



銀ナノ粒子インクとインクジェット装置を用いて描かれた微細パターン



金属ナノ粒子インク製造装置



紀州から世界へ躍進する、
独創性を生かした紀州技研の印字技術。

海外市場を視野に、中国とインドに現地拠点。世界で展開する **KGK** の最新技術。

紀州噴碼技術（上海）有限公司 / 中国

紀州技研の子会社である紀州噴碼技術（上海）有限公司は、中国・東南アジア向けのインクジェットプリンターを製造から販売まで全て行っています。

中国内に12営業所（瀋陽、北京、青島、鄭州、上海、南京、武漢、南昌、厦門、長沙、成都、広州）と10出張所（太原、西安、重慶、哈爾濱、天津、石家庄、杭州、新疆、長春、漯河）を設け、さらに中国からはマレーシア・タイ・シンガポール・インドネシア・台湾に代理店を設け幅広い展開を目指しています。



KGK JET India Private Limited / インド

本社拠点をチェンナイ市とし、敷地面積約6,000㎡の工場を設立。現地で製造から販売まで一環したセールスプロモーションを行っています。

2013年よりインド国内に4営業所（チェンナイ、ムンバイ、コルカタ、デリー）を開設。中東・アフリカ・ヨーロッパを販売テリトリーに各国に代理店を設けています。



- 1968.12 国内初めての自動捺印機専門メーカーとして、紀州技研工業株式会社を設立。
- 1969.01 ダンボール用自動捺印機 PC コーダー T-301 型開発、自動捺印機の基礎ができる
- 1969.11 PC コーダー FT 型開発、発売
- 1974.05 資本金を 600 万円に増資
- 1976.09 ナンバリング型 PC コーダー NRT-600 型開発、発売
- 1982.04 東京営業所開設
- 1984.11 資本金を 900 万円に増資
- 1986.10 東京パックにインクジェットプリンター出展
- 1987.11 インクジェットプリンター JET 7 型発売
- 1989.08 開発研究所開設
- 1991.07 東京営業所ビル竣工、東京営業所を移転
- 1991.11 インクジェットプリンター JET HQ 型開発、発売
- 1992.10 名古屋営業所開設
- 1993.07 資本金を 1,000 万円に増資
- 1993.11 連続式インクジェットプリンター JET CM 型発売
- 1995.12 海南テクニカルセンター新設
- 1996.04 福岡営業所開設
- 1998.03 大阪営業所開設
- 1999.12 タマゴ用インク発売
- 2000.09 インクジェットプリンター JET HQ 500 型発売
- 2002.04 インクジェットチェッカー PK 700 型発売
- 2002.08 インク開発部開設
- 2002.08 ヘッド開発部開設
- 2002.10 インクジェットプリンター JET CCS 型発売
- 2002.11 紀州電子（上海）有限公司設立
- 2003.10 インクジェットプリンター JET HQ 256 型発売
- 2003.12 ISO9001 認証取得
- 2004.11 インクジェットチェッカー PK 750 型発売
- 2004.11 ISO14001 認証取得
- 2005.07 自社ヘッド搭載インクジェットプリンター JET HQC 型発売
- 2006.01 画像認識システム開発部新設
- 2006.04 自社ヘッド搭載インクジェットプリンター JET HQM 型発売
- 2006.12 インクジェットプリンター JET CCS-N 型発売
- 2007.06 インクジェットプリンター JET CCS-R 型発売
- 2007.07 インクジェットチェッカー PK 800 型発売
- 2007.08 紀州電子（上海）有限公司を紀州噴碼技術（上海）有限公司に社名変更
- 2008.06 静岡営業所開設
- 2008.10 広島営業所開設
- 2009.03 熊谷営業所開設、備長炭インク発売
- 2009.04 インクジェットプリンター JET HQ3200 型発売
- 2009.06 インクジェットプリンター JET HQ5100 型発売
- 2009.09 インクジェットチェッカー PK 850 型発売
- 2009.12 インクジェットプリンター JET HQ2100 型発売
- 2010.01 仙台営業所開設

- 2010.06 インクジェットプリンター JET CCS3000 型発売
- 2010.12 PE 開発部設立
- 2011.08 インクジェットプリンター JET HQ500-FC 型（フルカラー印字システム）発売
- 2012.11 金属ナノインク「KGK NANO INK」発売
- 2013.01 横浜営業所開設
- 2013.02 神戸営業所開設
- 2013.03 ナノ粒子製造装置開発
- 2013.04 インクジェットチェッカー PK 400 型発売
- 2013.09 インクジェットプリンター JET HQ1000 型発売
- 2013.10 KGK JET India Private Limited 設立
- 2015.02 インクジェットプリンター JET HQ8000 型発売
- 2015.04 インクジェットプリンター JET HQ1000H 型発売
- 2015.04 インクジェットプリンター JET HQ8000-FC 型（フルカラー印字システム）発売
- 2015.06 インクジェットプリンター JET CCS2000 型発売
- 2015.12 四国営業所開設
- 2016.01 インクジェットプリンター JET HQ8500 型発売
- 2016.11 高崎営業所開設（熊谷営業所閉所）
- 2016.12 鹿児島営業所開設
- 2017.12 富山営業所開設
- 2018.06 インク研究所新設
- 2018.12 札幌営業所開設
- 2019.10 釜中 甫干が代表取締役社長を退任、会長に就任
- 2019.10 釜中 真次が代表取締役社長に就任
- 2021.12 新社屋完成

message



就任以来いつも思っていることは、まず、お客さまにいちばん近い存在でありたいということです。

紀州技研工業株式会社は研究開発型企業として、創業50数年を経てきました。その間、業界初と呼ばれる自動捺印機、オンデマンド方式のインクジェットプリンター、さらにインクや周辺設備の数々まで、多種多様な製品を自社で生み出してきた訳ですが、それらのアイデアや原動力となったのが、お客さまからの言葉なのです。「こんなプリンターはないですか」「この商品に印字したいけれど」。お客さまからいただく言葉（ニーズ）を起点に、営業・開発・製造が一丸となり、開発目標を定め、次のチャレンジにつなげていくことも稀ではありません。お客さまとのコミュニケーションが当社の社内一貫体制システムを確立させてきたと言っても過言ではないでしょう。そこでの私の役目は、経営の舵取りは無論ですが、社員のモチベーション向上と、快適に業務を行うための環境づくり。現在14ある営業所を訪れ、現場の声を聞くということも、積極的に行っています。

さて現代、新たな流通チャンネルやコミュニケーション手段の変化、グローバル化の加速といった外的な環境変化に、私たちの「印字」を取り巻く世界も変革が求められています。工場等での省人化対応の一つとして、メンテナンス自動化プリンターや物流領域でのトレーサビリティの深化における、特殊インクや印字システムの開発など求められるテーマは数多くあります。

世界に先駆けて、産学プロジェクトで行われている次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の研究もそのひとつ。軽量でフレキシブルな太陽電池の実用化に向けて、紀州技研工業株式会社もこれに協同参画。金属ナノ粒子専用インクジェットプリンターの技術で貢献しています。

紀州技研工業株式会社の製品が全世界で認められている企業体であることを誇りに、社員一人ひとりが技術やスキルを磨き、これらもお客さまの満足度の向上をはかることをお約束いたします。

代表取締役社長 **釜中 眞次**

商 創 資 事	号 立 金 容	紀州技研工業株式会社 Kishu Giken Kogyo Co.,Ltd. 昭和43年(1968年)12月25日 1,000万円 生産ライン上で段ボール、建材、パーツ、食品等に賞味期限、ロット番号、ロゴマーク、バーコード、QRコード等を自動的に印字するインクジェットプリンターとローラーコーダー、印字検査装置、コンベア・制御盤の関連設備、インクおよびソフトウェアの製造・販売
代 表 取 締 役 社 長	釜中 眞次	
売 上 高	75.2億円(2021年度)	
販 売 先 数	27,000社(実績)	
従 業 員 数	240名(2021年度)	
取 引 銀 行	紀陽銀行本店 三菱UFJ銀行 和歌山支店 商工中金 和歌山支店	
決 算 期	11月30日	
本 社	〒641-0015 和歌山県和歌山市布引466番地 TEL:073-445-6610 FAX:073-448-2005 URL:http://www.kishugiken.co.jp/	
営 業 所	札幌営業所 〒060-0004 北海道札幌市中央区北四条西13丁目1-2RICH 植物園BLDG5階 TEL:011-218-8115 FAX:011-218-8132 仙台営業所 〒982-0032 仙台市太白区富沢4丁目4-2 小島ビル401 TEL:022-307-3006 FAX:022-743-5181 東京営業所 〒131-0033 東京都墨田区向島3-41-13 TEL:03-3624-2111 FAX:03-5608-7277 横浜営業所 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-12 TEL:045-478-0696 FAX:045-473-3140 高崎営業所 〒370-0018 群馬県高崎市新保町1665-1 反町ビル TEL:027-353-3335 FAX:027-353-3367 静岡営業所 〒422-8041 静岡県駿河区中田2-1-6 村上石田街道ビル5F TEL:054-284-3526 FAX:054-284-3559 富山営業所 〒939-8216 富山県富山市黒瀬北町1-10-9 TEL:076-492-7712 FAX:076-492-7745 名古屋営業所 〒465-0093 愛知県名古屋市中東区一社3-96 TEL:052-704-0505 FAX:052-709-1220 大阪営業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町10-35-7 TEL:06-6330-6651 FAX:06-6378-1203 神戸営業所 〒655-0004 兵庫県神戸市垂水区学が丘4-24-19 TEL:078-787-7477 FAX:078-783-1050 四国営業所 〒799-0411 愛媛県四国中央市下柏町75-1 ロイヤルマンション柏1 TEL:0896-24-5210 FAX:0896-24-5205 広島営業所 〒730-0844 広島市中区舟入幸町21-23 アポイントビル舟入幸町102 TEL:082-532-3300 FAX:082-231-6800 福岡営業所 〒812-0042 福岡市博多区豊1丁目3-14 (佐藤ビル) TEL:092-482-6303 FAX:092-477-3504 鹿児島営業所 〒899-4341 鹿児島県霧島市国分野口東6-20 (サンライズビル1C) TEL:0995-49-6194 FAX:0995-49-6201 海南テクニカルセンター 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂1-1 TEL:073-483-3141 FAX:073-484-2084	
子 会 社	紀州噴碼技術(上海)有限公司 本社/中国上海市松江工業区聯陽路589号 董事長・総経理/釜中 眞次 資本金/50万米ドル 売上高/63.9億円(2021年度) 従業員数/259名(2021年度) 営業所・出張所/22ヶ所 KGK Jet India Private Limited 本社/1/40G, (11) PCM Colony St.Thomas Mount,Chennai 600-016 Tamil Nadu,India CEO/釜中 眞次 資本金/2億円 売上高/7.3億円(2021年度) 従業員数/149名(2021年度) 営業所・出張所/4ヶ所	